

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
君津地域・安房地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町、鋸南地区環境衛生組合、安房郡市広域市町村圏事務組合	平成 29 年度～令和 5 年度	平成 29 年度～令和 5 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和6年度) A	実 績 (令和6年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	61,184t	52,713t	55.8%
	1事業所当たりの排出量	3.04t	2.66t	73.6%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1人当たりの排出量	211.9kg/人	197.4kg/人	-69.1%
合 計	事業系生活系総排出量合計	171,665t	158,977t	155.4%
再生利用量	直接資源化量	11,341t	13,945t	40.9%
	総資源化量	37,770t	42,594t	34.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和29年度)	目 標 (令和6年度) A	実 績 (令和6年度) B	実績 /目標
総人口	457,137 人	442,066 人	436,182 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	169,825 人	170,338 人	2.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	37.1%	39.1%	29.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	4,792 人	3,439 人	635.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.0%	0.8%	0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	人	人	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	人	人	%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

《事業系》

- ・ 主な要因として、一大観光圏である当地域はコロナ禍以降の円高の影響により国内旅行需要の増大及びインバウンド需要の増大により観光客が増加している。増加に伴ってごみ排出量も増加したものと考えられる。

《生活系》

- ・ 主な要因として、コロナ禍以降のライフスタイルの変化により「巣ごもり需要の増大」が自宅での消費活動を活発化させ排出量の増加につながったと考えられる。

《再生利用量》

- ・ 主な要因として民間事業者における回収施策が浸透し行政回収量が減少してきたこと、ペーパーレス化が進み紙類の排出量の減少によるものと考えられる。

【生活排水処理】

《公共下水道・集落排水施設》

- ・ 汚水処理人口全体の割合では目標達成しているが、個別の処理形態でみると合併処理浄化槽人口は増え目標達成したが、総人口に対する公共下水道・集落排水人口の割合が下がり目標値を達成できなかったと考える。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和13年度まで ※君津地域・安房地域循環型社会形成推進地域計画第2次計画の目標年度

【ごみ処理】

《事業系》

- ・ 事業所に対しごみ減量化及び分別の徹底を呼びかける。

《生活系》

- ・ ごみの減量化・再利用・再資源化を推進するために、引き続き啓発活動を行う。

《再生利用量》

- ・ 民間事業者における回収施策等の外的要因による影響が強く、対応に苦慮するところではあるがごみの減量や資源物の分別・リサイクルに係る取り組みを改めて周知徹底する。

【生活排水処理】

汚水衛生処理率を向上させるには、未処理人口からの下水道、集落排水施設等へ接続、合併処理浄化槽等への転換が不可欠であるため、各構成市町において広報紙やホームページ等で啓発活動・補助金制度の広報を引き続き行うこととする。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

目標を達成できなかった事業系排出量、生活系1人当たりの排出量及び再生利用量について、【3 目標達成に向けた方策】を適切に実行し、次期地域計画における目標の達成に努められたい。

【生活排水処理】

公共下水道及び集落排水施設等については、目標達成状況報告書で述べたように目標を達成できていない。しかし、合併処理浄化槽等については、目標を大幅に上回り、本地域における汚水衛生未処理人口は着実に減少している。

今後は、目標が達成できなかった要因を把握し、目標達成に向けた方策を実施することで、引き続き汚水衛生未処理人口の減少に努められたい。